

障害者グループホーム第三者評価 評価結果報告書

社会福祉法人 育桜福祉会
陽光ホーム

平成28年10月19日

株式会社フィールズ

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 認証第6号

障害者グループホーム第三者評価
評価（結果）報告書

事業所名 陽光ホーム

株式会社フィールズ

第三者評価（結果）報告書（総括）

総 括	
対象事業所名	社会福祉法人 育桜福祉会 陽光ホーム
対象サービス	共同生活援助事業所
事業所所在地	川崎市中原区井田 3-16-1
設立年月日	平成 21 年 4 月 1 日
評価実施期間	平成 28 年 4 月 ～ 平成 28 年 10 月
公表年月日	平成 28 年 11 月
評価機関名	株式会社フィールズ
総合評価（ホームの概要と理念や方針、支援にあたって努力・工夫している点など）	
<p>《ホームの概要》</p> <p>陽光ホームは東急東横線元住吉駅よりバスで約 10 分、緑に恵まれた複数の福祉施設が位置する所にあります。ホームは 3 階建ての建物に男女各 8 名の利用者が生活しています。利用者は食事、入浴など日常生活の支援を受け、日中はそれぞれの日中活動事業所に通所しています。生活支援の他、ガイドヘルパーを利用する余暇・休日等の支援、通所先や区役所などとの連携、通院先の同行支援なども行っています。</p> <p>運営法人の社会福祉法人育桜福祉会は 1981 年（昭和 56 年）に設立し、複数の入所・通所施設を中心に多くのグループホームや相談支援、ホームヘルプサービス、障害者ふれあいショップの運営などの事業を行っています。</p> <p>《ホームの理念・方針》</p> <p>運営法人の育桜福祉会は「障害のある方一人ひとりの思いや願いを大切にし、利用される方の立場に立ったサービスの提供に努めます。生活支援や生産活動を通して社会への参加を手伝い、心豊かに過ごせる社会の実現を目指します」の理念を掲げ、さらに 8 つの基本方針により支援を具体化しています。</p> <p>《支援にあたって努力・工夫している点》</p> <p>グループホームで「利用者一人ひとりが望む暮らしが陽光ホームの生活で実現し、これからの暮らしに向けて、想いを育み続けるよう、支援します」という方針に取り組んでいます。</p> <p>利用者の暮らしがより豊かで生き生きとなるように、日中の生活も含めて全体を支援しています。通過型施設として連携施設での体験を増やし、いろんな場面やいろんな事にチャレンジできるようにして、地域移行がしやすいようにしています。また、世話人は家族や関係機関と連携しつつ、未来に向けて利用者の思いや悩みを十分に受けとめるように配慮しています。</p>	

評価領域ごとの特記事項	
1. 人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者一人ひとりの思いや願いが実現できるよう利用者主体の支援の提供を目指し、「倫理行動マニュアル」を活用しています。職員会議で人権に関して話し合いを行っています。 ・ 職員が利用者の居室に入るときには必ずノックや声掛けをして利用者の確認を得ています。呼称は「さん」付けで呼びかけ、顔を見て声掛けし、利用者の意思を確認しています。 ・ 法人の「プライバシーポリシー」に従って、個人情報の保護を徹底しています。利用者の各部屋と職員室に室内電話を設置して、いつでも個別に話し合いができるようになっています。
2. 意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームでは、毎年「みなさんの気持ちを聞かせてください」といろいろな場面からなるアンケートを用いて利用者一人ひとりとヒアリングをし、利用者の希望や意見を把握しています。また職員は利用者がおしゃべりを楽しんでいる時間に利用者から楽しかったことや要望など聞き取っています。 ・ 年度初めに利用者、家族と面談し、日常生活、社会生活、医療状況などにわたって長期・短期における課題を掲げた個別支援計画を作成し、随時見直しています。 ・ 1階の居室を使用して地域生活移行のための体験利用を行っています。体験を何度か繰り返し、利用することで、本人や家族、関係機関と共に本人の将来像を具体的に考える機会となっています。
3. サービスマネジメントシステムの確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金銭を自己管理できる利用者は毎月、職員と話し合い、お小遣いの予定表を作成しています。レシートを整理し、計画的に使うよう支援しています。自分で管理できない利用者に対しては、家族から預かった金額を必要な時に渡しています。 ・ 苦情については利用者とのいろいろな機会の面談から把握し、対応しています。内容によっては法人の「苦情解決対応マニュアルにそって法人全体で解決しています。 ・ 緊急時の連絡網をはじめ法人のマニュアルなどを整備し、職員は周知徹底しています。利用者は職員の名刺を携帯し、外出時にトラブルが起こった際に備えています。
4. 地域との交流・連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民と良い関係を保つためにも苦情や意見などを聞き、地域の共同生活が円滑に送れるよう、日頃の交流に努めています。近隣との境界の草木の整備や喫煙の始末、雑音などに配慮しています。 ・ 休日など利用者はガイドヘルパーを利用して地域の行事に参加しています。 ・ 隣接する連携施設の「桜の風」とは法人の「人権委員会」や「リスクマネジメント委員会」に合同で参加し、バックアップ体制を構築しています。
5. 運営上の透明性の確保と継続性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入居時には、本人、家族に重要事項説明書を用い、ホームの方針やサービス内容について説明し、同意を得ています。ホームの特徴である通過型の

	<p>施設であることについても分かりやすく説明しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> サービス提供にあたっては、具体的で身近な支援目標を設定し、利用者がモチベーションをもって目標達成に向けて取り組めるようにしています。 施設長は職員会議や世話人会議でホームの理念や方針について周知しています。個別支援計画作成時に世話人に支援内容についての意見を文書で求め、サービス管理責任者が、その内容を見て理念の理解度をチェックしています。
6. 職員の資質向上の促進	<ul style="list-style-type: none"> 年度末の個人面談で管理者は職員が苦勞していることを聞き、相談にのっています。入職年ごとや契約社員などの法人研修を実施して、該当する職員が参加しています。 法人が全職員のストレスチェックを毎年実施しています。また、必要に応じて産業医が相談にのる体制を整えています。法人からの労務関係に関する指示は、管理者を通して職員に伝えられます。 現在までの所、ボランティアや実習生の受け入れ実績はなく、マニュアルなどの受け入れ体制の整備は今後の課題となっています。
7. 日常生活支援	<ul style="list-style-type: none"> 余暇支援として個々の利用者の要望を把握し、必要な情報提供をしています。一人で出かける利用者に対しては、行く先をチェックし、必要なアドバイスをしています。ガイドヘルパーを利用して外出する利用者に対しては、一緒に行先を考え調整しています。隣の体育館で行われている太鼓クラブに、希望者が参加する支援を行っています。 職員が通院同行し、医師の話聞き、健康状態を把握しています。一人で通院する利用者に対しては医師と文書で情報交換しています。薬は事務室で預かり、服薬時に職員が確認して利用者に渡しています。 食事は利用者の嗜好を反映し、職員は調理法や味付けの工夫をしています。休日の昼食の献立は、利用者の要望などを考慮し、職員が作成しています。各階に風呂があり、毎日好きな時間に入浴することができます。見守りが必要な利用者は、職員が様子を確認できる1階で入浴しています。 通所先の事業所とは、必要に応じて連絡を取り合っています。生活介護の事業所とは連絡帳を用いています。自分でできることは自力でできるよう、個々に合わせた環境整備を工夫しています。

評価（結果）報告書（詳細）

7 領域の取組み状況項目 1（評価対象領域 1. 人権の尊重）

項目	努力、工夫していること (取組みの状況を具体的に記入)	課題と考えていること (課題の状況を具体的に記入)
<p><u>利用者の人格を尊重した関わり方、権利侵害の防止、プライバシーの保護について</u>（必須記入）</p> <p>（対応項目：「自己評価・第三者評価項目」1-(1)(2)(3)）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者一人ひとりの思いや願いが実現できるよう、利用者側に立った利用者主体の支援の提供を目指しています。 ・ 職員会議ではマスタープランに基づいて人権に関する話し合いを行い、支援の質の向上に努めています。 ・ 呼称は「さん」付けで呼びかけ、支援するときや確認するときには顔を見て声掛けし、利用者の意思を確認しています。 ・ 毎年数回、全職員が参加しお互いの支援を客観的に見直しています。 ・ 職員行動計画に基づいて、人権に関する話し合いを行い、支援の質の向上を目指しています。 ・ 入職時及び3年以内の社内研修では「倫理行動マニュアル」を活用し、特に人権について徹底した研修を行っています。 ・ 職員が利用者の居室に入るときには必ずノックや声掛けをして利用者の確認を得てから入ることにしています。 ・ 法人の「プライバシーポリシー」に則り、個人情報の保護を徹底しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援員や世話人も障害者の特性や受け止め方などについて理解し、さらに専門性を身に付け、利用者が混乱しないよう、統一した支援を提供できるよう努めています。 ・ 一人職場の世話人が研修会に参加することは、時間の確保が困難ですが工夫しながら参加するようにしています。
<p><u>※その他、利用者とのコミュニケーションや制度の利用支援など、人権の尊重に関する取り組みについて、特記事項があれば記載してください</u>（任意記入）</p> <p>（対応項目：「自己評価・第三</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月、利用者は世話人や支援員・サービス管理責任者と翌月の予定について話し合っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数名の利用者が成年後見制度を利用しています。高齢化する利用者の家族に対応するためにも職員自身が成年後見制度に対する知識を高めるよう努めています。

<p>者評価項目」1-(4) (5) (6))</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人ひとりの休日の外出予定、買い物・外食など小遣いの使いみちなど1ヶ月間の計画を話し合い、個別支援計画に反映しています。 ・利用者の各部屋に室内電話を設置し、事務室といつでも話すことができる環境となっています。 		
-----------------------------	--	--	--

7領域の取組み状況項目2 (評価対象領域 2. 意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供)

項目	努力、工夫していること (取組みの状況を具体的に記入)	課題と考えていること (課題の状況を具体的に記入)
<p><u>利用者の希望や意見のホーム運営への反映、個別支援計画の策定について</u> (必須記入)</p> <p>(対応項目:「自己評価・第三者評価項目」2-(7) (8))</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は利用者との会話を大切に、通所先から帰宅した時間や食事前の談笑の時間に、利用者から楽しかったことや要望などを聞き取っています。 ・職員は利用者一人ひとりと「みなさんの気持ちを聞かせてください」というアンケートを用いて8項目について、ヒアリングし、利用者の希望や意見を把握しています。 ・職員は利用者の持っている能力を活かした支援を心がけ、自立活動の実現に努めています。 ・年度初めに利用者・家族から要望や意見を聞き、個別の状況を把握し、利用者一人ひとりの介護についてモニタリングし個別支援計画を作成しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の高齢化が進み、面接の機会が少なく、個別支援計画時に家族の不参加のケースがあります。利用者との個人面談や日常生活状況などから意見や思いなど把握し、個人支援計画に反映するよう、努めています。 ・利用者の高齢化が進み、本人の状況やニーズを含めて、利用者を取り巻く環境全体のアセスメントの見直しに努めています。
<p>※その他、<u>自立支援や相談支援</u>など、意向の尊重と自立生活支援に関する取組みについて、特記事項があれば記載してください (任意記入)</p> <p>(対応項目:「自己評価・第三者評価項目」2-(9) (10))</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・休日などに部屋の清掃や整理、衣類の洗濯などを、自分で行えるよう自立支援に努めています。 ・週末の余暇活動についてはガイドヘルパーを利用した外出や買物など、本人の意思を尊重し、支援しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内の「地域生活体験事業」については、連携している「桜の風」の利用者の地域移行促進のため、桜の風職員と話し合いを行い、個々の利用者にあった体験を実施してもらえるよう努めています。

	<ul style="list-style-type: none"> ホームの1階の居室を使用してグループホームでの生活を体験し地域生活移行のための支援を行っています。体験を繰り返し利用することで本人や家族、関係機関と共に将来像を具体的に考える機会としています。 心身の健康を維持するよう、連携施設や医療機関、法人内栄養士、看護師等と連携して支援しています。 	
--	---	--

7 領域の取組み状況項目 3 (評価対象領域 3. サービスマネジメントシステムの確立)

項目	努力、工夫していること (取組みの状況を具体的に記入)	課題と考えていること (課題の状況を具体的に記入)
<p><u>金銭管理、不満や苦情の解決、事故・急病や災害等の緊急時の対応準備について</u> (必須記入) (対応項目:「自己評価・第三者評価項目」3-(11)(12)(13)(14))</p>	<p>(金銭管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己管理できる利用者は毎月、職員と話し合い、お小遣いの予定表を作成し、計画的に使うよう支援しています。 自分で管理できない利用者に対して家族から預かった金額を職員が必要な時に渡しています。 <p>(苦情解決)</p> <ul style="list-style-type: none"> 苦情については、日常生活の中、面談、その他いろいろな機会で見聞き取ったことを把握し対応しています。内容によっては法人の「苦情解決対応マニュアル」に沿って法人全体で解決しています。 <p>(緊急時の対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者は職員の名刺を携帯し、外出時のトラブルの連絡に備えています。 年に2回、「桜の風」と合同で施設長や防災担当職員が参加し、防災訓練、避難訓練などを実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 法人の「苦情解決対応マニュアル」に基づいて、利用者・家族・関係者からの要望、相談、苦情について誠意をもって適切に処理するよう努めています。 法人の「危機対応マニュアル」「ヒヤリハット、事故発生と事後対応マニュアル」に基づいて、事故防止に努めています。 利用者の「災害時個人カード」をファイル化し、緊急の通院時における病院への適切な対応ができるよう、準備しています。

<p>※その他、生活環境整備や緊急時の地域との協力関係やバックアップ体制整備や生活環境整備など、サービスマネジメントに関する取り組みについて、特記事項があれば記載してください (任意記入) (対応項目:「自己評価・第三者評価項目」3-(15)(16)(17))</p>	<p>(生活環境整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の居室には照明器具、エアコンが常備され、ベッド、机、本棚など各自で持ち込んでいます。 ・ 清掃は基本的には利用者が行っていますが一人でできない利用者に対しては職員も手伝っています。 ・ 各居室と事務室に室内電話が設置され、夜間の急病でもすぐに連絡が取れる体制となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人内の「桜の風」とは事故や急病・災害など緊急時には協力関係やバックアップ体制について話し合っています。 ・ 職員の心の健康に配慮しメンタルヘルスに向けた組織体制確立に努め、メンタルヘルス推進担当者を配置し、支援に努めています。
--	--	---

7 領域の取組み状況項目 4 (評価対象領域 4. 地域との交流・連携)

項目	努力、工夫していること (取組みの状況を具体的に記入)	課題と考えていること (課題の状況を具体的に記入)
<p><u>地域との関係づくり、連携</u>について (必須記入) (対応項目:「自己評価・第三者評価項目」4-(18))</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太鼓クラブに参加している利用者が、地元祭りで演奏を披露しています。 ・ 境界線の草木の整備、喫煙の煙、音など十分配慮しています。 ・ 隣接する連携施設の「桜の風」とは法人の「人権委員会」や「リスクマネジメント委員会」に合同で参加し、バックアップ体制が構築されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣は川崎市から委託された大規模な福祉施設がほとんどです。年2回、近隣の福祉施設の施設長や担当職員は避難訓練や防災訓練などについて話し合い、緊急時の協力関係を検討しています。

7 領域の取組み状況項目 5 (評価対象領域 5. 運営の透明性の確保と継続性)

項目	努力、工夫していること (取組みの状況を具体的に記入)	課題と考えていること (課題の状況を具体的に記入)
<p><u>ホームにおけるサービス提供の考え方や内容の周知、運営に関する法令の遵守</u>について (必須記入) (対応項目:「自己評価・第三者評価項目」5-(19)(20))</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入居時には、本人、家族に重要事項説明書を用い、ホームの方針やサービス内容について説明し、同意を得ています。ホームの特徴である通過型の施設であることについても分かりやすく説明しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ローテーション勤務のため、全職員で会議を実施することは難しい状況で、ホームとしても課題ととらえています。今後は全職員が同じ方向性で支援にあたるよう、定期的な職員会議、世話人会議の開催を検討しています。

	<ul style="list-style-type: none"> サービス提供にあたっては、具体的で身近な支援目標を設定し、利用者がモチベーションをもって目標達成に向けて取り組めるようにしています。 施設長は、職員会議や世話人会議で法令遵守について周知しています。また、法人研修でも啓発しています。 	
<p>※その他、<u>運営理念や方針の周知、意思決定の仕組み、自己評価の実施</u>など、運営の透明性と継続性の確保に関する取り組みについて、特記事項があれば記載してください（任意記入） （対応項目：「自己評価・第三者評価項目」5-(21)(22)(23)）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画に運営方針や事業の方向性、取り組むべき課題などを明記し、全職員に配付しています。また、職員会議、世話人会議でも説明しています。 施設長は職員会議や世話人会議でホームの理念や方針について周知しています。個別支援計画作成時に世話人に支援内容についての意見を文書で求め、サービス管理責任者が、その内容を見て理念の理解度をチェックしています。また、年度末の施設長の職員個人面談でも、確認しています。 法人のホームページで、事業所の方針を公表しています。また、事業計画や事業報告、第三者評価の結果等も公表し、透明性の確保に努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の自己評価の定期的な実施はなく、今後の課題です。

7領域の取組み状況項目6（評価対象領域 6. 職員の資質向上の促進）

項目	努力、工夫していること (取組みの状況を具体的に記入)	課題と考えていること (課題の状況を具体的に記入)
<p><u>職員の勤務条件や職務内容の適正化、資質向上のための研修体制の整備</u>について（必須記入） （対応項目：「自己評価・第三者評価項目」6-(24)(25)）</p>	<ul style="list-style-type: none"> サービス管理責任者が、職員の希望などを考慮して調整し、シフトを作成しています。 年度末の個人面談で管理者は職員が苦勞していることを聞き、相談にのっています。 法人が全職員のストレスチェックを毎年実施しています。また、必要に応じて産業医が相談 	<ul style="list-style-type: none"> グループホームの位置づけや支援のあり方について、園内研修を実施することを検討しています。

	<p>にのる体制を整えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 法人からの労務関係に関する指示は、管理者を通して職員に伝えられます。 入職1年目研修、2年目研修、3年目研修、5年目研修、契約社員研修などの法人研修に、該当する職員が参加しています。 	
<p>※その他、<u>ボランティア・実習生の受入れ体制整備</u>など、職員の資質向上の促進に関する取り組みについて、特記事項があれば記載してください（任意記入）</p> <p>（対応項目：「自己評価・第三者評価項目」6-(26)）</p>		<ul style="list-style-type: none"> 現在までの所ボランティアや実習生の受け入れ実績はなく、マニュアルなどの受け入れ体制の整備は今後の課題となっています。

7 領域の取組み状況項目 7（評価対象領域 7. 日常生活支援）

項目	努力、工夫していること （取組みの状況を具体的に記入）	課題と考えていること （課題の状況を具体的に記入）
<p><u>健康管理・服薬支援、自由時間の支援や就労（一般就労・福祉的就労）への支援、家族とのホームとの関係づくり</u>について（必須記入）</p> <p>（対応項目：「自己評価・第三者評価項目」 7-(27) (28) (29) (30) (31) (32)）</p>	<p>（健康管理）</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員が通院同行し、医師の話を聞き、健康状態を把握しています。一人で通院する利用者に対しては医師と文書で情報交換しています。また、緊急時には必ず付き添い、医師から説明を受けています。 	
	<p>（服薬支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> 薬は事務室で預かり、日付と内容を確認して個人ごとに分け、服薬時に職員が確認して利用者に渡しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームとしては、全職員が薬の効能を理解するためのさらなる研修が必要ととらえています。

	<p>(ホームと家族との関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族に金銭収支を毎月報告する際に、利用者の近況を記載しています。会うことが少ない家族には、定期的に電話や手紙で連絡を入れています。どうしても連絡が取れない家族に対しては、区役所のワーカーなどと連携しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームとしては、本人、家族の高齢化に伴い、家族の関係が希薄になっていくことを課題ととらえています。
<p>※その他、<u>食事や入浴、排せつ介助、整容支援、安眠支援、新聞・テレビや嗜好品の支援、利用者の行動障害への対応</u>など、日常生活支援に関する取り組みについて、特記事項があれば記載してください(任意記入) (対応項目:「自己評価・第三者評価項目」 7-(33) (34) (35) (36) (37) (38) (39) (40))</p>	<p>(食事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事は食材を仕入れている外部業者の献立を用いていますが、利用者の嗜好を反映し、煮魚を焼き魚に変更する等、職員は調理法や味付けの工夫をしています。 ・ 休日の昼食の献立は、利用者の要望などを考慮し、職員が作成しています。 <p>(入浴)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各階に風呂があるので、毎日好きな時間に入浴することができます。見守りが必要な利用者は、職員が様子を確認できる1階で入浴しています。 ・ シャンプーやせっけんの量を自分で管理できない利用者に対しては1回ずつに小分けするなど、自力で入浴できるよう環境を整えています。 <p>(整容など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 爪切りや髭剃りなど、自分でできない利用者に対しては、カミソリを事務室で管理するなど必要な支援をしています。 ・ 洗濯機と乾燥機が各階に設置しており利用者が自分で洗濯しています。洗剤を一回分ずつ小分けにするなど自力でできるように環境を整えています。 	

	<ul style="list-style-type: none">・ 自分で干せない利用者は乾燥機を用いてたたむだけにする、しまうのが苦手は利用者にはタンスの引き出しに絵カードを貼るなど、自分でできることは自分でやれるような環境整備をしています。 <p>(嗜好品への支援)</p> <ul style="list-style-type: none">・ お酒やたばこ、コーヒーなどの嗜好品は健康に支障をきたさない範囲で認めています。健康上の課題がある利用者については持ち込んだものをチェックし調整しています。医師と相談して1日のコーヒーの量を決めたり、アルコールフリーの飲料を勧めるなどしています。タバコは、屋外の喫煙所を用いることとしています。 <p>(利用者間の関係)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 職員は、利用者間の人間関係の把握に努め、食事のテーブルの席を決めたり、時間をずらしたりするなどの調整をしています。	
--	---	--

その他特記事項：第三者評価機関として今後、特に課題として取り組みを期待したい事項

(※特記する事項がない場合は無記入)

関連領域 (1～7を 記載)	第三者評価機関からのコメント	
3	取り組みを期待 したい事項	事故・急病や災害などの対応準備について
	理由	<p>利用者は外出時のトラブルに備えて職員の名刺を携帯しています。夜間の緊急時の職員の緊急出勤や連絡網など整備されています。</p> <p>緊急時に医療機関や救急隊への適切な対応について、全職員が取れるよう、利用者一人ひとりの障害特性に応じた注意事項などの持ち出しファイルを整備されることを期待します。</p>
4	取り組みを期待 したい事項	地域との交流、連携
	理由	<p>近隣は大規模な福祉施設に囲まれ、一般住宅は少なく、地域との交流は困難です。近隣の住民に事業所や利用者に対する理解を得るためにも、地元のイベント時のグラウンドの使用や災害時における避難場所の提供など事業所の力を生かした交流の機会を作ることを期待します。</p>

第三者評価機関コメント 利用者調査の結果

項目	コメント
<p>利用者調査で確認できたこと</p> <p>(※次の調査方法のうち該当するものに○印を記入)</p> <p>①ヒアリング調査 (本人)</p> <p>2 ヒアリング調査 (家族)</p> <p>3 観察調査</p>	<p>ヒアリング対象者：4名</p> <p>ヒアリングの方法：リビングで利用者一人ずつと2人の調査員と面談形式で行いました。和やかに話ができ、調査員の冗談にも笑いながら質問に答えてくれました。</p> <p>ヒアリングで確認できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ほとんどの職員は丁寧な言葉で話しかけてくれています。ただし、中には命令調の言葉を用いる人もいて気になることがあります。」 ・「職員が居室に入る時には必ずノックをして声をかけてくれます。」 ・「洗濯で乾燥機に忘れてしまったとき、片付けてくれます。」 ・「入浴は帰宅後に入ることが多いですが、希望すれば夜遅くや朝にも入ることが出来ます。髭剃りは自分でします。」 ・「食事はおいしいです。肉や魚が人気です。」 ・「困ったことがあれば、施設長やサービス管理責任者、支援員に相談しています。中原基幹センターの人にも相談します。内容によっては、相談支援の担当や後見人に相談します。」 ・「スタッフは時間があればいつでも相談に応じてくれます。忙しい時には相談メモや手紙に書き、家の中のポストに入れておくと返事してくれます。あらかじめ頼んで時間を取ってもらう時もあります。ホームの他の利用者トラブル時、市の相談センターの人に相談したこともあります。」 ・「体調が悪く日中活動を休んだ時には職員に相談しました。」 ・「ケガをした時には救急車を呼んでくれ、職員が病院まで付き添ってくれました。」 ・「お金の使い方については支援員に相談しています。欲しいものがあるので、お金を貯めています。ブックオフで中古品を買います。残高がマイナスになるときもあります。ガイドヘルパーを使う時にはサービス管理責任者に相談しています。」 ・「休日には、川崎や武蔵小杉、綱島等に出かけ、お店を見たり、買い物したりしています。中原区の区民祭りで太鼓たたきや、練習に行くのも楽しいです。食事をしてくるときもあります。」 ・「電車を見るのが楽しいです。」 ・「入所前には地域生活体験室を利用しました。その体験が良かったので、このホームを希望しました。まだ来たばかりで仕事を探しています。」 <p>★利用者は自分の思いや悩みを自分の言葉で素直に表現しています。コミュニケーションが上手でない利用者であっても自分の言葉をゆっくりと探し、言葉や表情で表すことが出来ています。</p>

	<p>職員が常に利用者を見守ってコミュニケーションを取り、利用者の思いや要望、悩みを引き出していることが利用者からヒアリングで伺えます。利用者職員との関係が構築されていることが調査でも伝わりました。職員が利用者と個別に話し合い、お小遣いの年間計画など月別に金額を記入し、節約などもできています。</p>
--	---

評価後（評価結果を受け取った後）のグループホーム「コメント」（自由記述）

評価を受けた障害者グループホームのコメント

今回第三者評価を受けた時期は、障害者施設や高齢者施設で狂氣的とも言える悲惨な事件が続き、職員のメンタル的な問題や利用者を地域へ促す時の不安など、さまざまな問題や不安を抱えていた時期でもありました。

利用者の想いを実現するために、安心・安全な生活の場所としての役割を果たす上で、今回各職員が自己評価を行い、ホーム全体だけでなく、職員一人一人が自らの支援や想いを振り返ることが出来、かつそれを職員内で議論し合うことが出来たことはとても貴重だったと思います。夜間一人で勤務する時の様々な不安感を職員で共有し、利用者支援での一体感を助長する良い機会になりました。

指摘していただいた地域との関係も、ホームの緊急時等だけでなく、さまざまな場面を想定して日頃から良好な関係づくりに努めておかなければならない課題だと思っています。

その他指摘していただいたことと合わせて、ホームで話し合った課題も、これからのホームの運営に活かしていきたいと思います。 ありがとうございました。



株式会社フィールズ

〒251-0024 藤沢市鵜沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4F

TEL : 0466-29-9430 FAX : 0466-29-2323